

株主通信

第69期 報告書

[平成31年4月1日～令和2年3月31日]



今日を支え 明日を創る

株式会社 四電五

YONDENKO

Investor
Relations
2020

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素格別のご支援を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。
株主のみなさまにおかれましては、これまでどおり、一層のご理解とご支援を
賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月

取締役社長

宮内 義憲



○令和元年度の当社グループの事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、設備投資や雇用は引き続き良好なものの、海外経済や消費増税の影響に加え、年度末にかけて新型コロナウイルス感染拡大により消費や生産の停滞が顕在化するなど景気減速が懸念されており、四国地域においても、ほぼ全国と同様の状況で推移しました。

当建設業界におきましては、公共投資や民間投資など全体として高水準を維持する一方、人手不足や工事原価の上昇など厳しい状況も続きました。

こうしたなか、当社グループは、積極的な営業活動の展開や施工効率の向上、業務全般にわたる合理化・効率化、成長投資枠を活用した収益基盤の強化などを図り、業績の確保に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の当社グループの受注高は820億83百万円(前連結会計年度比 3.6%増)、売上高は827億28百万円(同 2.9%増)、営業利益は34億18百万円(同 16.3%増)、経常利益は39億6百万円(同 3.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は22億89百万円(同 4.3%減)、連結ROE(自己資本当期純利益率)は4.9%となりました。

○今後の課題と当社グループの取り組み

当社グループを取り巻く事業環境は、首都圏や関西圏における再開発計画などによる底堅い建設需要が見込まれていますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い受注面、施工面への影響も予断を許さないものがあります。また、電力関連工事についても、電力自由化等により大きな伸びは期待できないものの、自然災害が激甚化するなかでしっかりライフラインを支えていかなければなりません。

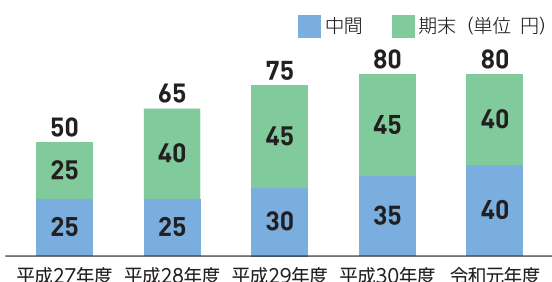
さらに、中長期的には、少子高齢化や経済社会の成熟化などにより市場規模が縮小していくことが予想されます。

このような情勢をうけ、まずは新型コロナウイルスによる足元の影響の極小化に努め、目標最終年度を迎える「中期経営指針2020」の達成に向けて同指針に掲げる重点施策を着実に進めてまいります。

また、将来の事業環境を見据えた次期中期経営指針の策定を通じ、総合生産性の向上に取り組み当社グループの持続的成長の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

1株当たりの配当金額

期末配当金につきましては、現下の業績動向に鑑み、株主のみなさまのご期待に応じていく観点から、1株当たり40円とさせていただくことに決定いたしました。



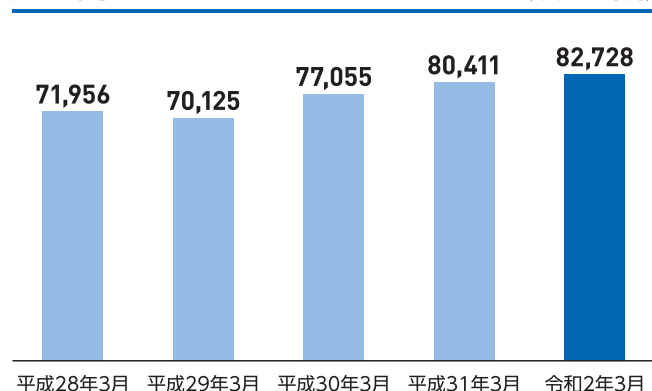
(注)当社は、平成29年10月1日付で、株式併合(5株を1株に併合)を実施しております。
平成29年度中間以前の配当金額は、併合後に換算しております。

2019年度 財務ハイライト

当社グループの業績および財産状況の推移

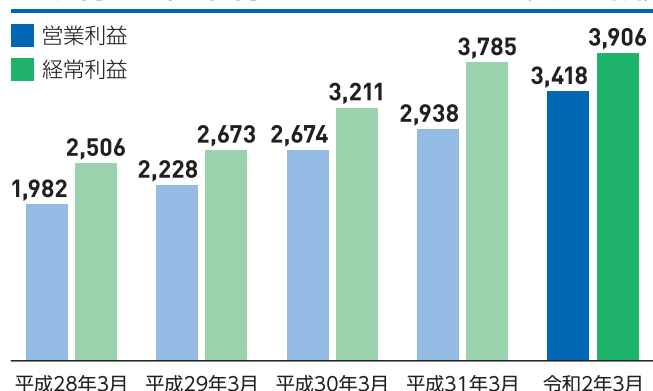
売上高

(単位 百万円)



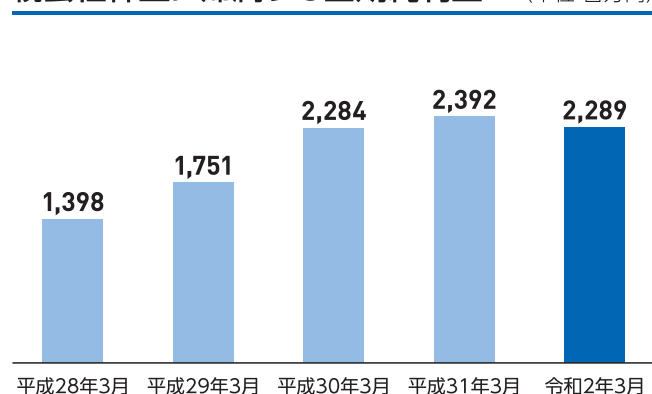
営業利益・経常利益

(単位 百万円)



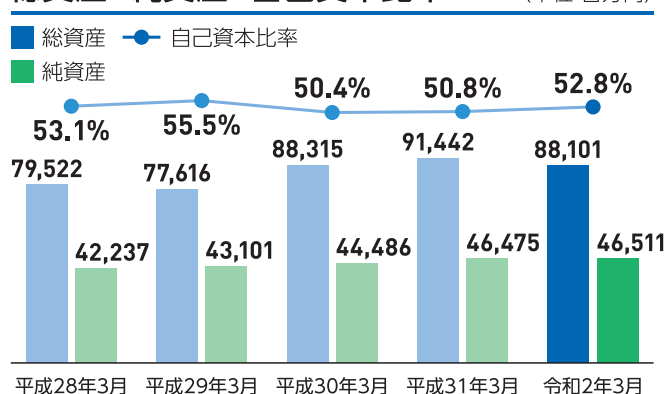
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位 百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

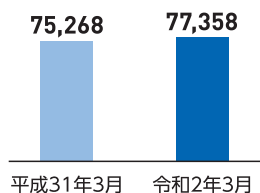
(単位 百万円)



当社グループのセグメント別営業の概況(売上高)

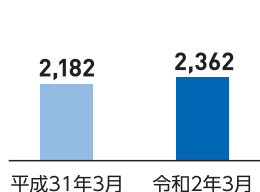
○設備工事業

(単位 百万円)



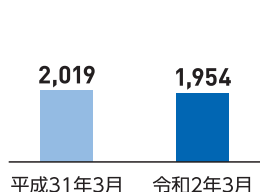
○リース事業

(単位 百万円)



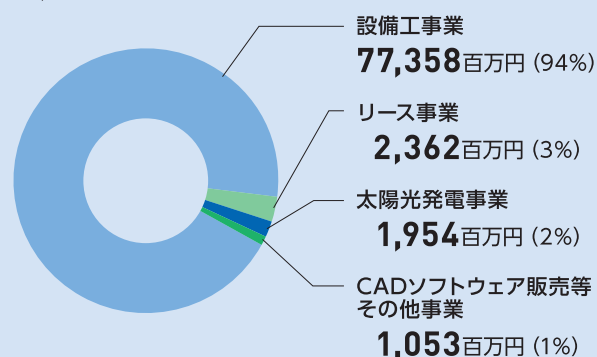
○太陽光発電事業

(単位 百万円)

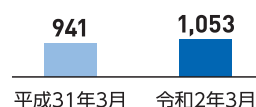
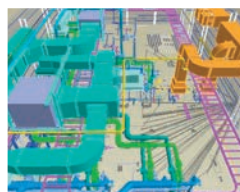


売上高

82,728百万円



○CADソフトウェア販売等その他事業 (単位 百万円)



施工実績／トピックス

施工実績



㈱ちゆがホールディングス 四国工場新築工事
〔愛媛県〕（電気、空調・給排水設備）



吉野川市民プラザ建設工事
〔徳島県〕（電気、空調・給排水設備）



羽衣駅前地区第一種市街地再開発事業
新築工事〔大阪府〕（電気設備）



四国水族館新築工事〔香川県〕（電気、空調・給排水設備）

トピックス

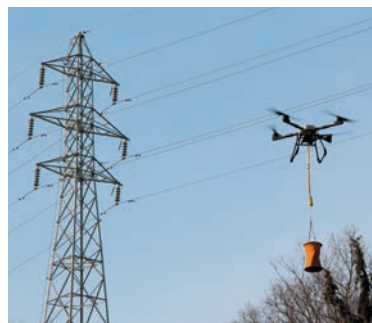
株式会社鈴木建築設計事務所（山形県）を子会社化



山形県有数の設計事務所である㈱鈴木建築設計事務所を3月16日付で子会社化しました。

同社との連携により、建築・構造・設備設計から施工・工事監理に至るバリューチェーンの構築・強化を目指します。

ドローンの活用による資機材運搬の実証試験（送電線工事）



平成28年から送電線の建設・保守にドローンの活用を進めています。

現在は、架線用・策道用ロープの延線および送電線の保守・点検に使用しており、今後は、山間部での資機材運搬での活用を検証していきます。

新商品『GREEN BIRTH』 緑色LED栽培トマト（よんでんグループ独自農法）



農業での収益機会を探るため平成25年から高糖度トマトの栽培を行っています。

今回、緑色LEDを照射し栽培した新商品を発売しました。従来品と比べ鮮度保持効果や旨味成分等が向上しています。

陸上 木村和史選手 国民体育大会 初優勝(400m) 全日本実業団対抗選手権 2冠(200m・400m)



当社所属の木村和史選手（陸上）が国民体育大会および全日本実業団対抗選手権で優勝しました。

当社が指定管理者を務める「Pikaraスタジアム」で勤務しながら、地元・香川からの五輪出場を目指しています。

会社概要／株式情報

会社概要 (令和2年3月31日現在)

商 号 株式会社 四電工
設立年月日 昭和38年5月1日
資本金 34億5,125万円
事業所数 38カ所
従業員数 2,051名
役 員 (令和2年6月26日現在)

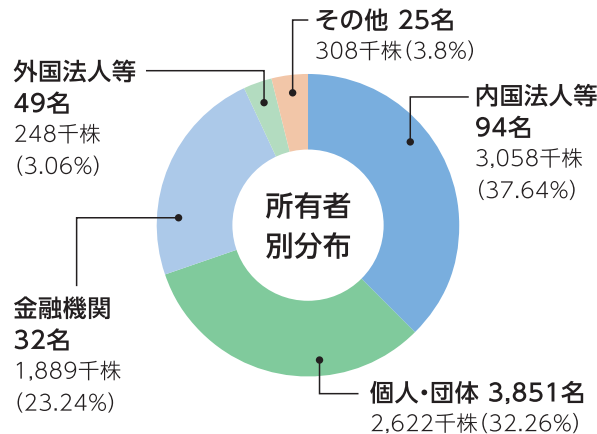
取締役社長 宮内 義 憲
専務取締役 末 廣 憲 二
専務取締役 古 川 俊 文
専務取締役 関 谷 幸 男
常務取締役 松 岡 一 雄
常務取締役 重 松 雅 男
常務取締役 高 橋 亮
常務取締役 山 崎 直 樹
取 締 役 白 井 久 司
取 締 役 森 糸 繁 樹
取 締 役 真 鍋 洋 子
常任監査役(常勤) 玉 野 弘
監 査 役(常勤) 臼 杵 明 彦
監 査 役 川 原 央
監 査 役 大 藪 修 二
監 査 役 岡 林 正 文

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 100株
公告方法 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
(<http://www.yondenko.co.jp>)
上場取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 大阪証券代行部
(<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>)
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
※受付時間 9:00～17:00
(土、日、祝日、12月31日～1月3日を除く)

株式の情報 (令和2年3月31日現在)

発行可能株式数 20,000,000株
発行済株式の総数 8,127,735株
株主数 4,051名
所有者別分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
四国電力株式会社	2,499	31.88
四電工従業員持株会	451	5.75
株式会社中国銀行	234	2.99
株式会社伊予銀行	222	2.84
株式会社百十四銀行	218	2.79
株式会社愛媛銀行	191	2.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	169	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	162	2.07
光通株式会社	101	1.30
日本生命保険相互会社	88	1.12

(注) 1. 当社は、自己株式286,801株を保有しておりますが、上記の表から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

IR情報メール配信のご案内

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などをお届けいたします。
当社ホームページからご登録いただけますので、ぜひご利用ください。

IR情報 ▶ IR情報メール配信

